

## 「北九州SDGs登録制度」申請書

北九州市長 様

所在地 福岡県北九州市若松区ひびきの1番8号

団体名 NPO法人武道の学校

代表者 高木淳也

「北九州SDGs登録制度」について、関係書類を添付の上、下記のとおり申請します。

## 団体概要

|             |   |                    |
|-------------|---|--------------------|
| (ふりがな)      | エヌピーオーハウジンブドウノガッコウ  |                    |
| 団体名         | NPO法人武道の学校  |                    |
| (ふりがな)      | たかきじゅんや   |                    |
| 代表者氏名       | 高木淳也  |                    |
| 所在地         | 市内事業所   | 北九州市若松区 ひびきの1番8号   |
|             | 主たる事業所  | 福岡県北九州市若松区ひびきの1番8号 |
| 事業概要        | 老若男女、また、障がいの有り無しを問わず、様々な人々に対して、武道教育を通して有為な人物の育成事業を行うとともに、健康増進に関する事業、障がい者及び難病患者に対する支援や交流事業を行い、社会教育の推進及び健康福祉の増進に寄与することを目的とする。 |                    |
| 企業・NPO法人等の別 | NPO法人等（企業以外）  |                    |
| 業種（企業のみ）    |   |                    |
| 従業員数（企業のみ）  |   |                    |
| ホームページの有無   | 有   |                    |
| ホームページURL   | <a href="https://www.junyatakaki.com/karate.html">https://www.junyatakaki.com/karate.html</a>                               |                    |

## 連絡先

|         |  |
|---------|--|
| 担当部署    |  |
| 担当者     | 高木淳也   |
| 電話番号    | 050-3552-4038  |
| メールアドレス | <a href="mailto:king@junyatakaki.com">king@junyatakaki.com</a> |

## 提出書類

- ・様式1：SDGs達成に向けた取組状況（チェックシート）
- ・様式2：SDGs達成に向けた宣言書
- ・様式3：地域課題への取組み

SDGs達成に向けた取組状況(チェックシート)

| No. | チェック項目  | 分類                    | 関連する認定・表彰制度<br>取得していれば「具体的な取組内容」の記載は不要です | 関連する主なゴール・ターゲット   |   |   | 具体的な取組内容   | 最も関連性のあるゴール・ターゲット | 最も関連性のある「北九州市SDG未来都市計画」の指標や取組 |
|-----|---|-----------------------|--|---|---|---|--|-------------------|-------------------------------|
| 1   | 温室効果ガスの排出を抑制するため、エネルギーの使用状況の把握や使用効率の改善、再生可能エネルギーの利用などに取り組んでいる。                          | 環境<br>(CO2削減)         |  |    |    |    | 1. クールビズ・ウォームビズの推進<br>2. 日々の節電など組織全体での取組<br>3. 営業車にEVやFCVなどの低公害車を導入<br>4. ノーマイカーデー・エコドライブの実施<br>5. 省機電力を90%削減する<br>6. エコバックの持ち歩き、省包装の品物を選ぶ   | ゴール               | 指標                            |
|     |   |                       |  | 7.2   | 9.4   | 13.3  | ゴール13  | 環境(1)②            |                               |
| 2   | 事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行っている。<br>3R(リデュース、リユース、リサイクル)を実施するなど、循環型社会の構築に取り組んでいる。        | 環境<br>(廃棄物削減)         |  |    |    |    | 1. 食品ロス削減を進めるため、フードチェーンに関わる事業者間で連携<br>2. 食品ロスを含む食品廃棄物等について、減量化やフードバンクでの有効利用<br>3. プラスチック製容器包装などの分別の徹底<br>4. 簡易包装、レジ袋の削減を実施<br>5. リデュース・リユース・リサイクルの3Rに加えて、リニューアブル(有機性の資源などの再生可能資源の利用)、リペア(修理)、リビルド、リマニファクチャリング(再製造)などの様々な「RE」を、資源効率性(RE)を向上させる3Rプラスを推進<br>6. 使用済の製品、部品、容器等の回収を行い、3Rプラスを推進<br>7. 紙、段ボール、空き缶・空き瓶・ペットボトル等、リサイクルできるものの分別の徹底 | ゴール               | 指標                            |
|     |   |                       |  | 9.4   | 12.3、12.5   | 13.3  | ゴール13  | 環境(1)②            |                               |
| 3   | 事業に伴う調達(原材料、部品、資材、サービス、使用する設備や事務用品等)について、環境負荷や人権などに配慮している。                              | 環境・社会<br>(サプライチェーン管理) |  |    |    |    | 1. フェアトレード商品(国際フェアトレードラベル)の購入<br>2. 国内においても調達先で、児童労働や強制労働がないことを確認<br>3. サプライチェーンマネジメントの実行<br>4. 市内事業者を優先して調達<br>5. 社会や環境に対しても長期的にプラスの効果をもたらす持続可能な調達方針を策定   | ゴール               | 指標                            |
|     |   |                       |  | 10.2  | 12.2  | 13.3  | ゴール12  | 経済(2)④            |                               |
| 4   | 商品やサービスの安全性を担保する体制を整備すると共に、品質の向上や新たな技術の開発等に取り組んでいる。                                     | 経済・社会<br>(技術向上)       |  |    |    |    | 1. 大学、公的試験機関などとの共同研究の推進  | ゴール               | 指標                            |
|     |   |                       |  | 8.2   | 9.5   | 12.5  | ゴール8   | 経済(2)④            |                               |
| 5   | 環境に配慮した商品やサービスの開発や、社会課題の解決につながる商品やサービスの提供に取り組んでいる。                                      | 環境・経済・社会<br>(商品開発)    |  |    |    |    | 1. 販売促進に向けキャッシュレス決済(クレジットカード、電子マネー等)を導入  | ゴール               | 指標                            |
|     |   |                       |  | 7.2   | 9.4   | 13.3  | ゴール8   | 経済(2)①            |                               |
| 6   | 長時間労働の防止、テレワーク等の多様な働き方の導入など、良好な労働環境の整備に取り組んでいる。   | 経済・社会<br>(労働環境整備)     |  |    |    |    | 1. 北九州イクボス同盟に加盟<br>2. 従業員が介護離職をしないよう、休職、復職、再雇用の制度を導入<br>3. 障がい者を雇用する大企業、障がい者の多様性について、職場全体で理解を深める勉強会や研修を実施  | ゴール               | 指標                            |
|     |   |                       |  | 3.4   | 5.5   | 8.8   | ゴール5   | 社会(1)④            |                               |
| 7   | 年齢、性別、国籍、障害の有無等による不当な差別を防ぐ体制の整備等により、女性活躍など、多様な人材が活躍できる環境の構築に取り組んでいる。                    | 社会<br>(ジェンダー平等)       |  |    |    |    | 1. 経営計画に女性の管理職割合を目標設定<br>2. 当法人では、年齢、性別、国籍、障害の有無を問わず、リーダー制度や選定制度を設け、社会貢献や海外研修において勉学し、家庭や社会において活かせるよう啓発推進を行っている   | ゴール               | 指標                            |
|     |   |                       |  | 5.5   | 8.5、8.8   | 10.2  | ゴール5   | 社会(1)イ            |                               |
| 8   | セクシャルハラスメントやパワーハラスメント、マタニティハラスメントなど、あらゆるハラスメント行為を防止するための体制を整備するなど、良好な職場環境の構築に取り組んでいる。   | 社会<br>(ハラスメント防止)      |  |  |  |   | 1. パワハラ防止法など、ハラスメントに関する法令を遵守<br>2. ハラスメントに対する相談窓口を設置<br>3. 2000年より人材開発活動を実施  | ゴール               | 指標                            |
|     |   |                       |  | 5.1、5.4   | 8.8   |   | ゴール5   | 社会(1)②            |                               |
| 9   | 疾病予防や早期発見、良好なメンタルヘルスの維持など、従業員の健康維持に取り組んでいる。   | 社会<br>(健康経営)          |  |  |  |   | 1. 従業員に対して不適切な飲酒がもたらす問題に関する研修の実施<br>2. 感染症の拡大を防止するため、テレワークや時差出勤などの対策を実施<br>3. 1998年から「健康促進」をテーマに、また、障害者総合支援法の改正を機に『すべての人に健康と福祉を!』をテーマに、障がい者無料空手教室「インクルーシブ・スポーツ・TEAMカラテ」を推進し、『健康日本21』をベースに妊産婦を含む中高年者を対象とした『パパママ改造計画』をスタート。  | ゴール               | 指標                            |
|     |   |                       |  | 3.4   | 8.8   |   | ゴール3   | 社会(1)オ            |                               |
| 10  | 全ての従業員にスキルアップのための研修等の機会を提供すると共に、社会に役立つ情報系の外部への発信やインターンシップの受け入れなど、社内外にわたる人材の育成に取り組んでいる。  | 経済・社会<br>(人材育成)       |  |  |  |  | 1. 異業種交流会への派遣を行っている。<br>2. 社内外における研修の実施活動や、大学院、研究機関への派遣を行っている。<br>3. 生活困窮世帯の児童や成人を対象にした、居場所づくり・教育・能力開発等の創出   | ゴール               | 指標                            |
|     |   |                       |  | 4.4   | 8.2、8.6   | 17.17   | ゴール8   | 経済(2)①            |                               |
| 11  | 反社会的勢力の排除、汚職や贈収賄・不正競争行為の防止など、法令を遵守する体制を整備している。  | 社会<br>(不正防止)          |  |  |   |   | 1. 反社会的勢力に対する基本方針を策定し、従業員および社外に周知<br>2. 贈収賄防止と公正な取引に関する方針を策定し、従業員および社外に周知<br>3. 個人情報保護ガイドラインを策定し、従業員および社外に周知<br>4. 情報セキュリティ対策を推進<br>5. 福岡県暴力団放逐推進センター賛助会員として、不当要求防止責任者講習を受け、青少年育成を推進している。会員企業や関係者への啓発もしている。  | ゴール               | 指標                            |
|     |   |                       |  | 16.1、16.3、16.5  |   |   | ゴール16  | 社会(2)ウ            |                               |
| 12  | 自社のSDGsの取組をマネジメントする担当者や担当部署を設置し、CSV(※)などを適切に推進すると共に、災害時等の事業の継続や事業承継など持続可能な事業経営に取り組んでいる。 | 経済・社会<br>(持続可能性)      |  |  |  |  | 1. 従業員向けにSDGs研修を実施<br>2. SDGsを推進する社内体制の構築<br>3. 従業員全員で2030年の世界での自社のあるべき姿を議論し、SDGsを使ってそれを達成するための計画を作成<br>4. SDGs・経営やSDGsへの取組に関する情報を開示<br>5. 気象災害(台風や豪雨など)による事業への被害を防止・軽減するために、ハザードマップを確認して、避難計画や事前防災対策を推進   | ゴール               | 指標                            |
|     |   |                       |  | 11.b  | 12.6  | 13.1  | ゴール12  | 経済(4)①            |                               |

※CSV(Creating Shared Value: 共通価値の創造)  
企業が社会課題に取り組む、社会に対して価値を創造することでビジネス(経済的な価値)を創出すること。

### SDGs達成に向けた宣言書

宣言日 令和 3年 9月 13日

団体名 NPO法人武道の学校

私たちは、SDGsの内容を理解し、SDGsの達成に向けた方針及び取組を以下のとおり宣言します。

#### ◆ SDGs達成に向けた取組方針等

企業だけではなく、NPO法人の運営も問われるSDGsへの取り組みは、企業や民間の手が届かない分野にNPO法人の特性を活かし、推進するものだと確信致しております。当法人は、2030年度までにより多くの社会貢献が達成できるよう、SDGs達成に向けて邁進致します。

#### ◆ SDGs達成に向けた重点的な取組

| 達成を目指す分野に「○」 |   | SDGs達成に向けた重点的な取組                      | 指標 (KPI) ・ 目標値<br><small>※目標値は、いずれかの目標年で設定してください。</small> |   | 最も関連性のある「北九州市SDGs未来都市計画」の指標や取組<br><small>※どちらか一方のみの記載で構いません。</small> |
|--------------|---|---------------------------------------|---|---|--|
| 経済           |   | 子どもに関する経済的・社会的な課題への対応                 | 指標 (KPI)  | 空手道や課外講習に係るセミナー受講者                      | 指標   |
| 社会           | ○ |                                       | 目標値   |   | 具体的な取組   |
| 環境           |   |                                       | 2030年<br><small>(その他の場合)</small><br>( )年                  | 2015年200人<br>↓<br>2030年1000人            |  |
| 経済           | ○ | SDGs経営 (運営) を先進的に取組むモデル企業 (NPO法人) の発信 | 指標 (KPI)  | 未来の人材育成を推進する社会教育への投資 (寄付) モデル           | 指標   |
| 社会           |   |                                       | 目標値   |   | 具体的な取組   |
| 環境           |   |                                       | 2030年<br><small>(その他の場合)</small><br>( )年                  | 2018年116万円<br>↓<br>2030年500万円           |  |
| 経済           |   | ごみの減量と廃棄物発電 (過去に行ってきた実績を基にごみ減量化を啓発する) | 指標 (KPI)  | 3Rを含めた一般廃棄物の「発生流れ」調査                    | 指標   |
| 社会           |   |                                       | 目標値   |   | 具体的な取組   |
| 環境           | ○ |                                       | 2030年<br><small>(その他の場合)</small><br>( )年                  | 1997年~2018年<br>200トン<br>↓<br>2030年300トン |  |

#### 記載について

- ・ 「SDGs達成に向けた重点的な取組」は、3つまでご記入できます。
- ・ 必ず全ての分野 (経済・社会・環境) の達成を宣言してください。  
(1つの取組みで3つの分野を達成しても、複数の取組みで3つの分野を達成しても構いません)
- ・ 指標 (KPI) は、原則として数値目標を記載してください。

## 地域課題への取組み

団 体 名 NPO法人武道の学校

私たちは、地域課題の解決を通じてSDGsを達成するため、北九州市の取組みに参加しています（今後、参加します）。

| 取組名                                  | 具体的な取組内容  |
|--------------------------------------|---|
| 14 「北九州市における子ども食堂の支援に向けた取組に関する協定」の締結 | コロナ禍でも対応できる配布型を行います。企業とコラボを行い、3密を回避した場所で月に1回の配布を行います。審査のため11月開始。  |
| 11 ながら見守り宣言企業                        | 他地域で長年「防災・防犯キッズレンジャー」を行ってきた経験を活かし、様々な活動の中で防犯活動を行う。推進員面接後、及び緊急事態宣言解除後、10月中旬より開始予定。                                     |
| 17 食品ロス削減サポーター                       | 課外講習等で弁当や会食を行うことが多く、食品ロス削減の取り組みを行っている。コロナ禍において、自粛における啓発として、各家庭において取り組みを行い、プライバシーに配慮しながら写真等の報告会を行う予定。審査のため、11月1日開始予定。  |
| 99 その他（市と連携した取組み）                    | 北九州学術研究都市に「SDGs未来都市・運動脳科学研究所」を開設し、大学との共同研究に向けて審議を進めている。適度な負荷で脳機能の発達や改善（認知症等）を研究し、市内の学校や高齢者施設等で運動促進を図るものとする。11月1日開始予定。 |

### 記載について

- ・参考「企業等が参画可能な取組一覧」の中から、現在取り組んでいるもの（今後取り組むもの）を少なくとも一つ選択し、具体的な取組内容を記載して下さい。
- ・これから取組みを始める場合は、選択した取り組みの担当部署に連絡をし、所定の手続きを済ませた上で本書を提出して下さい。
- ・参考「企業等が参画可能な取組一覧」以外で、貴団体が自主的に行っている取組みについても、併せて記載いただいても構いません。